





- 図1 初発時のCT像. 右大脳基底核部に腫瘍像が認められる.
- 図2 右基底核部初発腫瘍の生検標本. (2A: H&E染色. 2B: PLAP免疫染色. 矢印は細胞膜に陽性を示す大型の腫瘍細胞.)
- 図3 剖検時大脳前額断面. 右基底核部の初発病変は小嚢包を伴い萎縮性で腫瘍の残存は認められない. 円蓋部より脳内に二次性腫瘍の進展がみられる.
- 図4 二次性腫瘍の組織像. (4A, 4C-D: H&E染色, 4B: Kossa硝酸銀法)